

学校だより 2号

高松市立太田南小学校

2日から6日にかけての5連休が終わり、今日から学校が始まりました。連休中は、高速道路の通行料が1000円ということで、各地での観光客の多さや高速道路の混雑が報道されていました。各ご家庭では、どのような連休を過ごされたでしょうか。うまくリフレッシュされた方もいれば、旅行に行っても行かなくても何となく疲れが残ったという方もおられるのではないかと思います。子どもたちは、今日、元気に学校に登校してきています。そして、早速、各学年団で運動会の練習にがんばっています。

【子どもたちの様子から】

先日、子どもたちの校外学習の様子を見るため、学校出発の見送りにでたり、広田神社や中央公園を自転車で回ったりしてきました。

1年生が集合し、注意事項の確認をしていざ出発しようとした時でした。1年団長の久保先生が次のように子どもたちに問いかけました。

『見送りに来てくださっている校長先生に何とさえいっていいでしょうか』
一人の児童が、すぐに『行ってきます。』と答えました。すると、すかさず久保先生が、『そうですね。あいさつをして出発しましょうね。』と、話しました。素敵なやり取りだと思いませんか。ややもすると、「あいさつをして行きましょう。」と、言ってしまいがちになるのですが、何とさえいっていいか、子どもたちに考えさせる場面を作っています。簡単なことだけれども、家庭でも学校でもこのような毎日の積み重ねが大きいのです。

広田神社へ行くと、私の姿を見つけた児童が「校長先生、瞬間移動してきたん？」いつの間に来たのか不思議だったので、このような言葉になったのだと思います。いつも教室をのぞくと「校長先生、絶好調」とだじゃれを言っている1年生ですが、「瞬間移動」という言葉を普通に使っていることに驚かされます。

広田神社を出発して、中央公園に向かっていると、整列して上手に歩いて移動している3年生と出会いました。サン・フラワー通りでは、信号待ちの間に列を短くして横断歩道を素早く短時間で渡っていました。見事な集団行動です。

3年生を見送った後、自転車に乗り学校へ帰って来ました。そして、東門の小門の出入りの戸を自転車片手に開けようとしていると、休み時間中で、たまたまそこにいた2年生の娘が近寄ってきて、にこっと笑って戸を開けるのを手伝ってくれました。

「ありがとう」とお礼を言うと、娘から「どういたしまして」と、返事とともに笑顔が返ってきました。素敵ですね。この児童の家庭ではどのような躾をしているのかなど、考えさせられました。

【お知らせ】

香川県教育委員会から、「有害情報から子どもを守るための今後の取組の方向性」の公表がありました。この中に、携帯電話の取扱いに関する基本的な指導方針を定め、児童生徒及び保護者に周知することとあります。このことについては、PTA総会の場でお知らせしていますが、確認のため、再度お知らせします。

本校では、学校への児童生徒による携帯電話の持ち込みについては、原則禁止としています。
--